

# 各地の話題 七ヶ浜町

ルバーブを七ヶ浜の特産品に 国内発祥の地で魅力 PR

2025年11月7日号掲載



七ヶ浜町の荻野繁樹さんは、町内の生産者6名とルバーブの栽培に取り組んでいる。町の職員としてルバーブのブランド展開事業に携わった経歴を持ち、今年3月に退職した後も、生産量や認知度の向上を目指し活動している。

西洋野菜のルバーブは、明治23年、国内では初めて七ヶ浜町の高山(たかやま)外国人避暑地で栽培された。茎色が緑と赤の2系統あり、爽やかな酸味で熱に溶けやすいことから、主にジャムやソースに加工される。

春から秋にかけ年3回程度の収穫が可能だが、高温に弱く、猛暑の影響により令和5年には赤色系の9割が枯れる大きな被害を受けた。それでも、荻野さんは「東日本大震災の津波で被災した畑でもあり、ルバーブ栽培発祥の避暑地があるこの地で栽培する意義を感じている。生産量を増やしながら、魅力を伝えていきたい」と前向きだ。

現在は七ヶ浜町内だけでなく仙台市内の複数の飲食店に販路を拡大し、ジャムやスイーツに使用されている。

【記事提供】 七ヶ浜町農業委員会

赤ルバーブ



ルバーブジャム

